

2023 年 7 月 25 日

日本原燃株式会社

新型遠心機への更新等に係る設工認申請書の軽微変更届における記載方針について

## 1. 概要

前回面談（2023 年 4 月 26 日実施）にてご説明した、新型遠心機への更新等に係る設工認申請（令和 3 年 7 月 26 日付け原規規発第 2107269 号）におけるカスケード設備の主配管（呼び径 125A 及び 150A）の厚さを変更することに関し、軽微変更届の記載方針について、他事業者の軽微変更届の記載を参考に整理した。

## 2. 軽微変更届の記載方針の整理

前回面談にてお示しした、当該主配管の仕様表及び公差表に係る軽微変更届の記載方針について、至近の他事業者の記載を参考として、変更前後表を用いた補正形式の記載方法から、変更認可申請形式の記載方法へ変更する。具体的には以下のとおりとする。

### ① 仕様表

既認可の内容を変更前、今回変更する内容を変更後に示す（添付 1）

### ② 公差表

①の仕様表にて示した主要寸法の記載に準じて、寸法許容値を記載（添付 2）

## 3. 今後の対応

上記記載方針を踏まえ、今後実施する軽微変更届へ適切に反映する。

以上

■：商業機密の観点から公開できない箇所

## 仕様表に関する軽微変更届の記載方針について

前回面談（2023年4月26日実施）では、変更前後表を用いて既認可設工認の該当ページがそのまま差し替わるような形（一部補正の記載イメージ）で作成していたが、変更認可申請のように、変更前に既認可の仕様表の変更後の内容を記載し、変更後に軽微変更届における変更内容を記載する形とする。

### 【前回の記載】

#### 変更前後表を使用

変更前										変更後																																																									
<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 カスケード設備</p> <p>(1) 2Aカスケード系 (RE- )</p> <p>a. 主配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称*</th> <th>最高使用圧力 #2</th> <th>最高使用温度 #2</th> <th>流体等の種類 #3</th> <th>臨界管理 核的制限値 濃縮度 %</th> <th>外径 #4</th> <th>厚さ #4</th> <th>主要材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )</td> <td>上限: 960<sup>#9</sup> 下限: 0<sup>#9</sup></td> <td>40</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>5以下</td> <td>34.0 89.1 114.3 139.8 165.2</td> <td>3.0 3.0 3.0 3.4 3.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )</td> <td>上限: 960<sup>#9</sup> 下限: 0<sup>#9</sup></td> <td>40</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>5以下</td> <td>34.0 89.1 114.3<sup>#8</sup> 139.8<sup>#8</sup> 165.2</td> <td>3.0 3.0 3.0<sup>#8</sup> 3.4<sup>#8</sup> 3.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>										名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	流体等の種類 #3	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径 #4	厚さ #4	主要材料	2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 139.8 165.2	3.0 3.0 3.0 3.4 3.4	-	2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-	<p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 カスケード設備</p> <p>(1) 2Aカスケード系 (RE- )</p> <p>a. 主配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称*</th> <th>最高使用圧力 #2</th> <th>最高使用温度 #2</th> <th>流体等の種類 #3</th> <th>臨界管理 核的制限値 濃縮度 %</th> <th>外径 #4</th> <th>厚さ #4</th> <th>主要材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )</td> <td>上限: 960<sup>#9</sup> 下限: 0<sup>#9</sup></td> <td>40</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>5以下</td> <td>34.0 89.1 114.3<sup>#8</sup> 139.8<sup>#8</sup> 165.2</td> <td>3.0 3.0 3.0<sup>#8</sup> 3.4<sup>#8</sup> 3.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )</td> <td>上限: 960<sup>#9</sup> 下限: 0<sup>#9</sup></td> <td>40</td> <td>気体 UF<sub>6</sub></td> <td>5以下</td> <td>34.0 89.1 114.3<sup>#8</sup> 139.8<sup>#8</sup> 165.2</td> <td>3.0 3.0 3.0<sup>#8</sup> 3.4<sup>#8</sup> 3.4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>										名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	流体等の種類 #3	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径 #4	厚さ #4	主要材料	2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-	2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-
名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	流体等の種類 #3	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径 #4	厚さ #4	主要材料																																																												
2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 139.8 165.2	3.0 3.0 3.0 3.4 3.4	-																																																												
2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-																																																												
名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	流体等の種類 #3	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径 #4	厚さ #4	主要材料																																																												
2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-																																																												
2Aカスケード 室第1支持点 ~ 遠心分離機 (RE- )	上限: 960 <sup>#9</sup> 下限: 0 <sup>#9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0 89.1 114.3 <sup>#8</sup> 139.8 <sup>#8</sup> 165.2	3.0 3.0 3.0 <sup>#8</sup> 3.4 <sup>#8</sup> 3.4	-																																																												

### 【今後の記載イメージ】

#### 変更認可申請の形式

- 設計条件及び仕様
  - カスケード設備

- 2Aカスケード系 (RE- )
  - 主配管

既認可の変更後の内容を記載

実用炉の記載ルールでは、JIS配管の場合は公称値を記載

変更前							変更後							
名称	最高使用圧力	最高使用温度	流体等の種類	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径	厚さ	名称	最高使用圧力	最高使用温度	流体等の種類	臨界管理 核的制限値 濃縮度 %	外径	厚さ	主要材料
2Aカスケード系 (RE- )	上限: 960 <sup>*1</sup> 下限: 0 <sup>*1</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0	3.0	2Aカスケード系 (RE- )	変更なし	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0	3.0	変更なし
					89.1	3.0						89.1	3.0	
					114.3	3.0						114.3	3.0	
					139.8	3.4						139.8	3.4	
					165.2	3.4						165.2	3.4	
2Aカスケード系 (RE- )	上限: 960 <sup>*1</sup> 下限: 0 <sup>*1</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0	3.0	2Aカスケード系 (RE- )	変更なし	40	気体 UF <sub>6</sub>	5以下	34.0	3.0	変更なし
					89.1	3.0						89.1	3.0	
					114.3	3.0						114.3	3.0	
					139.8	3.4						139.8	3.4	
					165.2	3.4						165.2	3.4	

変更箇所のみ数値を記載

注記 \*1: 圧力の表記は、絶対圧力とする。なお、ゲージ圧力を示す場合は単位記号の後にG又はGaugeを付し、ゲージ圧力であることを明確にする。以降の圧力の表記も同様とする。

今回の変更届において示すことが必要な注記のみ記載

公称値の許容範囲に関する軽微変更届の記載方針について

前回面談（2023年4月26日実施）では、変更前後表を用いて軽微変更届後に既認可設工認の該当ページがそのまま差し替わるような形（一部補正の記載イメージ）で作成していたが、今回の軽微変更届においては、変更後の仕様表において記載した主要寸法に対応する公差を示す形とする。

【前回の記載】

変更前後表を使用

<仕様表（変更後（既認可））該当部抜粋>

変更後						
名称 <sup>*1</sup>	最高使用圧力 <sup>*2</sup>	最高使用温度 <sup>*2</sup>	流体等の種類 <sup>*3</sup>	臨界管理	外径 <sup>*4</sup>	厚さ <sup>*4</sup>
				核的制限値		
				濃縮度		
hPa	℃	—	%	mm	mm	
2A カスケード系 2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	上限： 960 <sup>*9</sup> 下限： 0 <sup>*9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5 以下	34.0	3.0
					変更なし <sup>*7</sup>	
					114.3 <sup>*8</sup>	3.0 <sup>*8</sup>
					139.8 <sup>*8</sup>	3.4 <sup>*8</sup>
					165.2	3.4

<仕様表（変更後）該当部抜粋>

変更後						
名称 <sup>*1</sup>	最高使用圧力 <sup>*2</sup>	最高使用温度 <sup>*2</sup>	流体等の種類 <sup>*3</sup>	臨界管理	外径 <sup>*4</sup>	厚さ <sup>*4</sup>
				核的制限値		
				濃縮度		
hPa	℃	—	%	mm	mm	
2A カスケード系 2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	上限： 960 <sup>*9</sup> 下限： 0 <sup>*9</sup>	40	気体 UF <sub>6</sub>	5 以下	34.0	3.0
					変更なし <sup>*7</sup>	
					114.3 <sup>*8</sup>	3.0 <sup>*8</sup>
					139.8	3.5
					165.2	3.5

<公差表>

仕様表における変更後の主要寸法の公差を記載

図 3.1.1 カスケード設備 構造図（遠心分離機 (RE-XXXXXXXXXX)）別紙  
仕様表記載の公称値の許容範囲

変更前				変更後			
主配管		主要寸法 (mm)	許容範囲 (mm)	主配管		主要寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	外径	34.0	+0.34 -0.34	2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	外径	34.0	+0.34 -0.34
		114.3	+1.143 -1.143			114.3	+1.143 -1.143
		139.8	+1.398 -1.398			139.8	+1.398 -1.398
		165.2	+1.652 -1.652			165.2	+1.652 -1.652
2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	厚さ	3.0	+0.3 -0.3	2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	厚さ	3.0	+0.3 -0.3
		3.0	+0.3 -0.3			3.0	+0.3 -0.3
		3.4	+0.34 -0.34			3.5	+0.35 -0.35
		3.4	+0.34 -0.34			3.5	+0.35 -0.35

【今後の記載イメージ】

変更認可申請の形式

<仕様表（変更後）該当部抜粋>

変更後							
名称	最高使用圧力 <sup>*2</sup>	最高使用温度 <sup>*2</sup>	流体等の種類 <sup>*3</sup>	臨界管理	外径	厚さ	主要材料
				核的制限値			
				濃縮度			
hPa	℃	—	%	mm	mm	—	
2A カスケード系 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		変更なし
					変更なし	3.5	
					変更なし	3.5	
2A カスケード系 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし		変更なし
					変更なし	3.5	
					変更なし	3.5	

仕様表における変更後の主要寸法の公差を記載（方針に変更なし）

<公差表>

主配管		
主要寸法 (mm)	許容範囲 (mm)	根拠
2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	3.5 +0.35 -0.35	JIS G 3459 による材料公差
2A カスケード室第1支持点 ～ 遠心分離機 (RE- <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span> )	3.5 +0.35 -0.35	JIS G 3459 による材料公差

変更前後表は示さず、変更部分のみの公差を示す。